



2018年8月10日

各位

会社名 アステラス製薬株式会社
代表者 代表取締役社長 CEO 安川 健司
コード番号 4503
(URL <https://www.astellas.com/jp/>)
東証 (第 一 部)
決算期 3月
問合わせ先 広報部長 緒方 ステイグ
Tel: (03)3244-3201

英国 Quethera 社買収のお知らせ

- 緑内障を対象とした革新的な遺伝子治療プログラムを獲得 -

アステラス製薬株式会社(本社:東京、以下「アステラス製薬」)は、本日(日本時間)、Quethera Limited(本社:英国ケント州、CEO: Peter Widdowson、以下「Quethera 社」)を買収しましたので、お知らせします。Quethera 社は、緑内障*1 など眼科領域における新規の遺伝子治療の開発に注力する英国のバイオベンチャー企業です。

本買収により、アステラス製薬は緑内障患者の網膜に治療遺伝子を発現させる遺伝子組換えアデノ随伴ウイルス(recombinant adeno-associated viral vector system: rAAV)を活用した遺伝子治療プログラム(以下「rAAV プログラム」)を獲得します。rAAV プログラムは、前臨床試験において網膜神経節細胞の生存率の改善が確認されています。

アステラス製薬の代表取締役社長 CEO の安川健司は、「本買収は、最先端の科学、技術を積極的に取り込み、患者さんの価値に変えていくというアステラス製薬の戦略に基づく取り組みです。眼圧のコントロールに依存しないユニークな作用メカニズムを有する rAAV プログラムは、難治性の緑内障の治療選択肢となる可能性があります。本プログラムが、視力を失うリスクのある緑内障患者さんのアンメットメディカルニーズに応える治療法となることを期待しています」と述べています。

Quethera 社 CEO の Peter Widdowson は、「Quethera 社は、患者さんの失明につながり、生活の質(Quality of Life: QOL)を著しく低下させる緑内障などの眼科疾患に対する革新的な治療法の開発に注力しています。本買収により、rAAV プログラムの有効性を確認するための研究が一層加速していくことを期待しています」と述べています。

アステラス製薬は、Quethera 社を 100%子会社化するための対価として、一時金およびあらかじめ契約で定められた条件に基づく支払いを合わせ、最大で 85 百万ポンドを Quethera 社の株主に支払う可能性があります。

買収手続きはすでに完了しており、Quethera 社はアステラス製薬の完全子会社となりました。

なお、本件によるアステラス製薬の 2019 年 3 月期業績への影響は軽微です。

記

買収の概要

- (1) 株式取得者: アステラス製薬株式会社
- (2) Quethera 社の主要株主: UK Innovation and Science Seed Fund (UKI2S),
Cambridge Enterprise
- (3) 株式の取得方法: 現金(手元資金を充当)
- (4) 対価: 一時金およびあらかじめ契約で定められた条件に基づく支払いを合わせ、最大で 85 百万ポンド

対象会社の概要

- (1) 名称: Quethera Limited
- (2) 所在地: 英国ケンブリッジ
- (3) 代表者: CEO Peter Widdowson
- (4) 設立: 2013 年
- (5) 従業員 1 名(2018 年 8 月現在)
- (6) アステラス製薬との関係: 対象会社との間には、記載すべき関係はありません。

以上

*1 **緑内障**: 視神経の損傷が進行していく病気で(眼圧の上昇を伴うことが多いが、常に伴うわけではない)、不可逆的な視力障害につながる疾患です。現在行われている治療は、眼圧を低下させる薬物療法、レーザー治療、手術など、進行を遅らせる治療法が中心です*2。

*2:

MSD マニュアル:

<https://www.msmanuals.com/ja-jp/%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%A0/20-%E7%9C%BC%E3%81%AE%E7%97%85%E6%B0%97/%E7%B7%91%E5%86%85%E9%9A%9C/%E7%B7%91%E5%86%85%E9%9A%9C>

日本眼科学会:

http://www.nichigan.or.jp/public/disease/ryokunai_ryokunai.jsp

アステラス製薬について

アステラス製薬株式会社は、東京に本社を置き、「先端・信頼の医薬で、世界の人々の健康に貢献する」ことを経営理念に掲げる製薬企業です。アステラス製薬の詳細については、(<https://www.astellas.com/jp/>)をご覧ください。

注意事項

このプレスリリースに記載されている現在の計画、予想、戦略、想定に関する記述およびその他の過去の事実ではない記述は、アステラス製薬の業績等に関する将来の見通しです。これらの記述は経営陣の現在入手可能な情報に基づく見積りや想定によるものであり、既知および未知のリスクと不確実な要素を含んでいます。さまざまな要因によって、これら将来の見通しは実際の結果と大きく異なる可能性があります。その要因としては、(i) 医薬品市場における事業環境の変化および関係法規制の改正、(ii) 為替レートの変動、(iii) 新製品発売の遅延、(iv) 新製品および既存品の販売活動において期待した成果を得られない可能性、(v) 競争力のある新薬を継続的に生み出すことができない可能性、(vi) 第三者による知的財産の侵害等がありますが、これらに限定されるものではありません。また、このプレスリリースに含まれている医薬品(開発中のものを含む)に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。